

# 歴史



## ■神奈川区の歴史・主要事業

西暦	和暦	できごと	西暦	和暦	できごと
1266	文永3	かながわの地名初見。北条時宗下文に「神奈河」とある	1862	文久2	生麦事件
1510	永正7	権現山の合戦	1868	慶応4	神奈川宿大火、西ノ町より出火生麦村へおよぶ
1601	慶長6	東海道宿駅伝馬の制が定められる 神奈川宿設置	明治元	9月8日	明治と改元
1603	慶長8	徳川家康、征夷大將軍に任ぜられ江戸幕府を開く	1869	明治2	神奈川県設置
1604	慶長9	東海道を整備して一里塚を置く	1870	明治3	東京・横浜間に電信開通 本陣・脇本陣の名目を廃す
1622	元和8	御殿町に神奈川御殿が造営されたという（神奈川青木町年鑑）	1871	明治4	神奈川陸橋（初代青木橋）完成 高島嘉右衛門、高島町埋立完成
1655	明暦元	神奈川御殿破却されたという（神奈川青木町年鑑）	1870	明治3	関門・番所を廃止
1667	寛文7	吉田新田埋立なる	1871	明治4	新橋一横浜間鉄道開業
1703	元禄16	元禄地震	1873	明治6	高札を撤廃
1707	宝永4	富士山噴火、宝永山できる。武蔵・相模被害大	1879	明治12	青木町大火、220軒焼失
1786	天明6	神奈川宿大火、300軒焼失	<b>1889</b>	<b>明治22</b>	<b>横浜市誕生</b>
1802	享和2	十返舎一九の「東海道中膝栗毛」初編刊	1901	明治34	神奈川町が市に合併
1803	享和3	幕府、五街道分間延絵図御用のため、宿村の村明細帳を差し出させる	1904	明治37	横浜電気鉄道、神奈川一大江橋間開業（市電の初め）
1806	文化3	五街道分間延絵図完成	1905	明治38	京浜電気鉄道、品川一神奈川間開通（後の京浜急行）
1824	文政7	「金川砂子」刊	1908	明治41	横浜鉄道、東神奈川一八王子間開通（後のJR横浜線）
1831	天保2	神奈川宿大火、荒宿町より出火青木町へおよぶ 1200余焼失	1923	大正12	関東大震災
1832	天保3	葛飾北斎の「富嶽三十六景」刊	1926	大正15	東京横浜電鉄、丸子多摩川一神奈川間開通（後の東急東横線）
1833	天保4	安藤広重「東海道五十三次」刊			京浜第一国道完成
1836	天保7	「江戸名所図会」刊	<b>1927</b>	<b>昭和2</b>	<b>神奈川区制施行</b>
1843	天保14	「東海道宿村大概帳」刊	1928	昭和3	東急東横線、渋谷一横浜間開通
1853	嘉永6	ペリー浦賀に来航	1929	昭和4	上無川埋立てられる
1854	安政元	幕府、ペリーと日米和親条約（神奈川条約）を締結	1930	昭和5	上台橋造られる 神奈川公園開園
1855	安政2	安政大地震			横浜専門学校（現神奈川大学）が六角橋に移転
1856	安政3	米総領事ハリス下田に着任	1931	昭和6	横浜市中央卸売市場、山内町に開設
1857	安政4	幕府、松山藩に神奈川の警備を命ず	1945	昭和20	横浜大空襲 第二次世界大戦終る
1858	安政5	幕府、神奈川でハリスと日米修好通商条約を締結	1947	昭和22	現JR横浜線 大口駅開業
1859	安政6	英駐日総領事オールコック着任 <b>神奈川・長崎・函館を開港</b> 神奈川一洲干間の通船開始 神奈川台場着工	1949	昭和24	横浜貿易博覧会が反町で開催される 区役所庁舎青木町に落成
1859	安政6	米国長老教会宣教師ヘボン夫婦、神奈川に来航 米国改革派教会宣教師ブラウン、同宣教師シモンズ、神奈川に来航 関門7か所、番所10か所を設置	1950	昭和25	市庁舎が横浜貿易博覧会跡地（反町）に移転
1860	万延元	神奈川台場完成	1955	昭和30	第10回国民体育大会
			1956	昭和31	横浜市が政令指定都市となる
			1959	昭和34	現市庁舎（中区港町）が完成
			1963	昭和38	市庁舎跡地に反町公園開園
			1964	昭和39	区総合庁舎広台太田町に落成 三ツ沢公園球技場完成 東京オリンピック開催

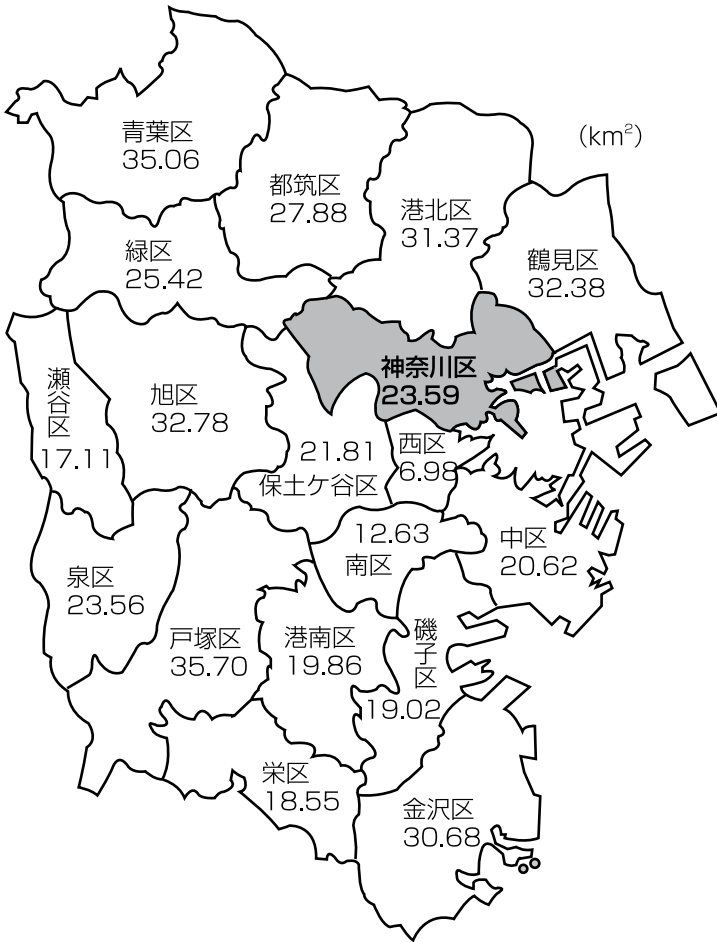
西暦	和暦	月	できごと	西暦	和暦	月	できごと
1965	昭和40	12	第三京浜開通	1994	平成6	12	「ゆめはま2010プラン神奈川区計画」確定
1967	昭和42	6	神奈川区青少年図書館開館 (現幸ヶ谷コミュニティハウス)	1995	平成7	4	市立小・中学校(22校)を地域防災拠点に指定
1969	昭和44	9	区内の市電廃止			6	「お元気コール」開始
1970	昭和45	11	平沼記念体育館開館			10	区内全域で缶・びん分別収集実施
1972	昭和47	3	区内のトロリーバス廃止	1996	平成8	4	「ふれあい訪問」開始
1974	昭和49	9	第1回区民会議開催	1997	平成9	2	生涯学習支援センター開設
1975	昭和50	8	第1回区民のつどい開催			3	「神奈川区防災計画(震災対策編)」策定
1976	昭和51	10	第1回区民まつり開催 神奈川音頭制定・発表			5	入江川せせらぎ緑道整備完了
1978	昭和53	4	神奈川公会堂開館			10	こども・家庭支援センター開設
1979	昭和54	10	東海道貨物線 鶴見—横浜羽沢—戸塚開通	1998	平成10	3	環状2号線暫定開通
1981	昭和56	2	神大寺地区センター開館			6	横浜市ポートサイド地下駐車場開業
		12	区シンボルマーク制定	1999	平成11	5	はーと友 神奈川・若草開設 幸ヶ谷公園コミュニティハウス開所
1983	昭和58	4	豊頭寺市民の森開園			6	菅田地域ケアプラザ開館
		10	区マスコットマーク制定			7	菅田地区センター開館
1984	昭和59	4	沢渡中央公園開園			11	エコライフかながわ開館
1985	昭和60	3	市営地下鉄、横浜—新横浜間開通	2000	平成12	7	片倉三枚地域ケアプラザ開館
1986	昭和61	2	神奈川地区センター開館			12	新子安駅西地区第一種市街地再開発事業 しゅん工
1987	昭和62	10	神奈川図書館開館 うらしま荘開館	2001	平成13	2	新子安地域ケアプラザ開館
1988	昭和63	5	三ツ沢せせらぎ緑道整備完了	2002	平成14	1	福祉保健センター開設
1989	平成元	3	横浜博覧会開催			7	東神奈川駅東口第一種市街地再開発事業 しゅん工
		9	区の木(こぶし)・区の花(チューリップ)制定			6	かなつくシティ東部療育ビル しゅん工
1990	平成2	8	区役所別館しゅん工	2003	平成15	12	都市計画マスタープラン神奈川区プラン 「神奈川区まちづくりプラン」確定
		11	神奈川区ビューポイント36景選定			2	みなとみらい線開通
1991	平成3	4	第1回神奈川区チューリップまつり開催 (反町公園) 神大寺中央公園こどもログハウス開館 (愛称：トムソーヤ)	2004	平成16	5	白幡地区センター開館
		8	区役所本館再整備しゅん工			7	かなつくホール開館
1992	平成4	2	神奈川区文化協会設立			9	区民活動支援センター開設 (旧生涯学習支援センター)
		4	浦島丘中学校コミュニティハウス開所			10	東海道シンポジウム神奈川宿大会開催
		9	反町在宅支援サービスセンター開館 (現反町地域ケアプラザ)	2005	平成17	3	神奈川区地域福祉保健計画策定
		11	神之木地区センター〈在宅支援サービス センター(現神之木地域ケアプラザ)・ 知的障害者通所更生施設併設〉開館	2006	平成18	3	わが町かながわ50選選定
						7	東横フラワー緑道一部供用開始
				2007	平成19	9	沢渡三ツ沢地域ケアプラザ開館 かながわ地域活動ホーム ほのぼの開館
1993	平成5	6	環境元年「キック・オフ・フェスタ」開催			10	区制80周年 地域子育て支援拠点“かなーちえ”開設
		10	神奈川区イメージソング「早春花」制定・発表			6	神奈川台場 西取渡り道 (にしとりわたりみち) 発掘調査の実施(6月、11月)
		12	ゆめはま2010プラン長期ビジョン「神奈川 区の将来像」策定	2008	平成20		
1994	平成6	3	神奈川スポーツセンター開館			10	羽沢駅周辺地区まちづくり協議会設立
			ポートサイド地区第二種市街地再開発事業しゅん工			12	臨港幹線道路開通
		4	六角橋中学校コミュニティハウス開所	2009	平成21	3	「わが町かながわとっておき」選定

〔資料：神奈川宿歴史の道年表を基に加除修正〕

# 神奈川区の地理・地勢



## ■位置と面積



神奈川区は、大きな広がりを見せる台地が区域の大部分を占めています。その他、沿岸部に細長く広がる低地部分と臨海部の埋立地などで成り立っています。

### ●位置

東経 139度34分15秒～139度40分21秒

北緯 35度27分45秒～ 35度30分11秒

### ●面積

23.59 km<sup>2</sup>、横浜市全体 (434.98 km<sup>2</sup>) の5.4%

(平成21年4月1日現在)

## ■区域の広がりと高低

北端 松見町

南端 瑞穂町

東端 宝町

西端 菅田町

最高地点 菅田町 (海拔77.30m)

最低地点 子安通 (海拔 0.10m)

